



# 2018年度 決算

(2018年4月～2019年3月)

2019年5月9日

塩野義製薬株式会社  
代表取締役社長 手代木 功



# 本日のアジェンダ



- 1. 2018年度 決算の概要 (P.3-10)**
- 2. 2019年度 ビジネスプラン (P. 11-17)**
- 3. 株主還元について (P. 18-19)**

# 1. 2018年度 決算の概要

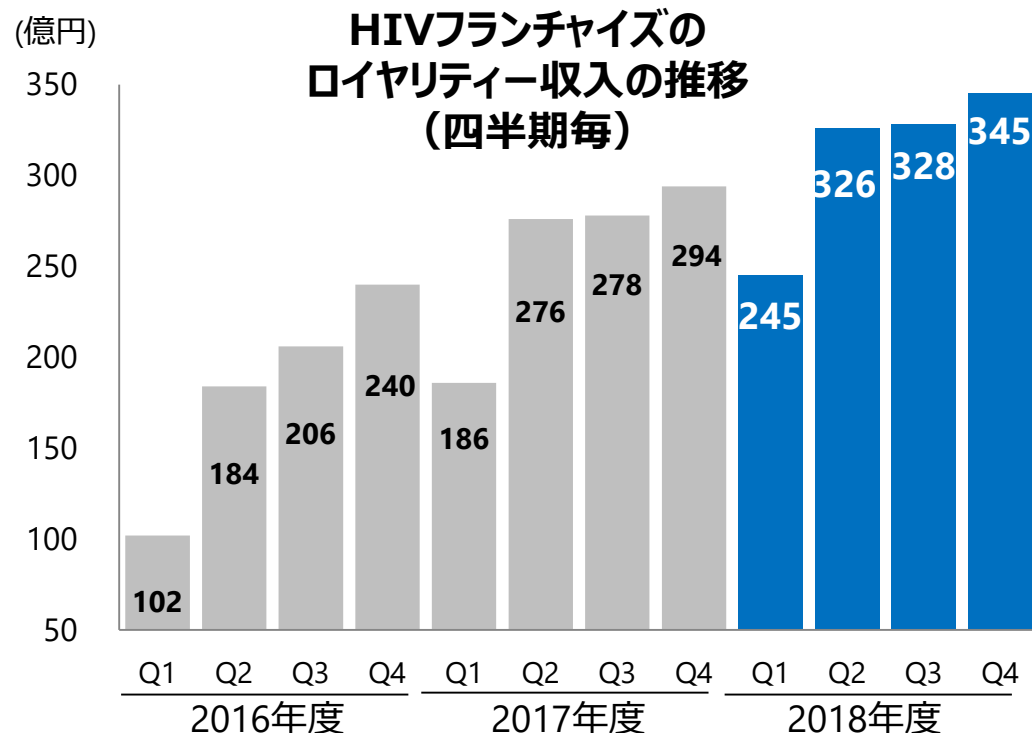
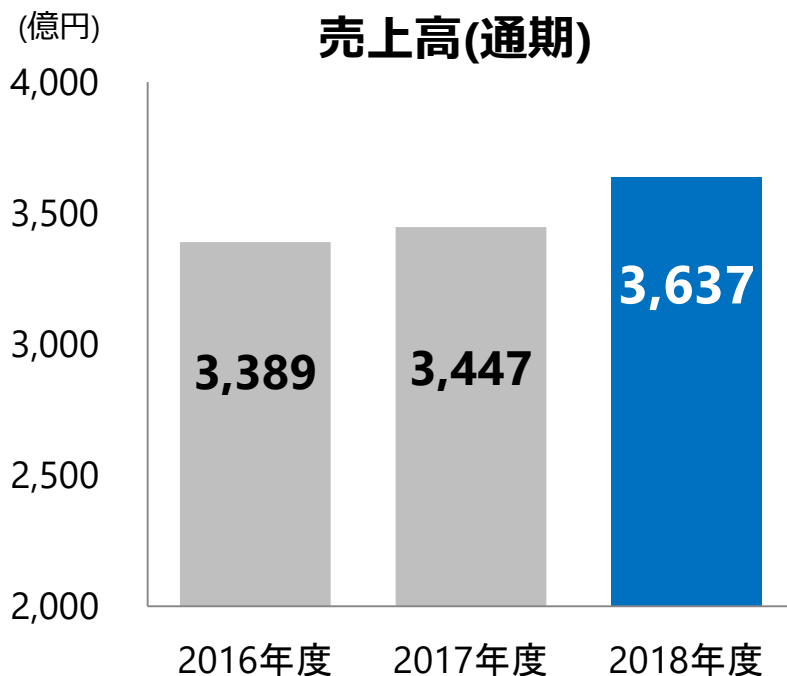
# 決算ハイライト① トップラインは継続的に成長

4年連続  
増収

◆ 売上高：3,637億円（対前年 +5.5%）

HIVフランチャイズに関する

◆ ロイヤリティー収入：1,244億円（対前年 +20.3%）



# 決算ハイライト② 各利益は過去最高を更新

◆ 営業利益： **1,385億円** (対前年 +20.2%)

4年連続  
過去最高

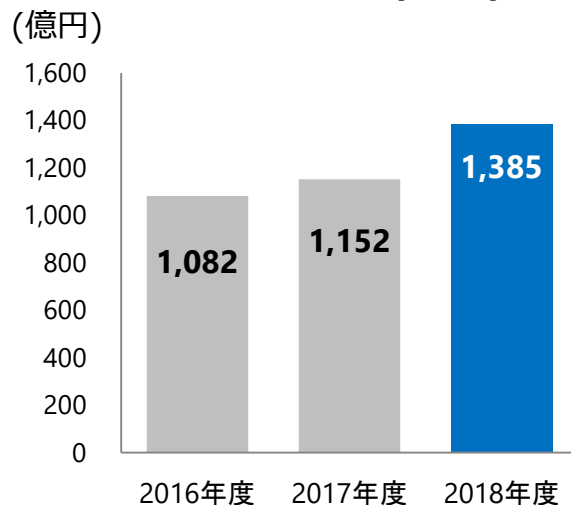
◆ 経常利益： **1,666億円** (対前年 +20.1%)

7年連続  
過去最高

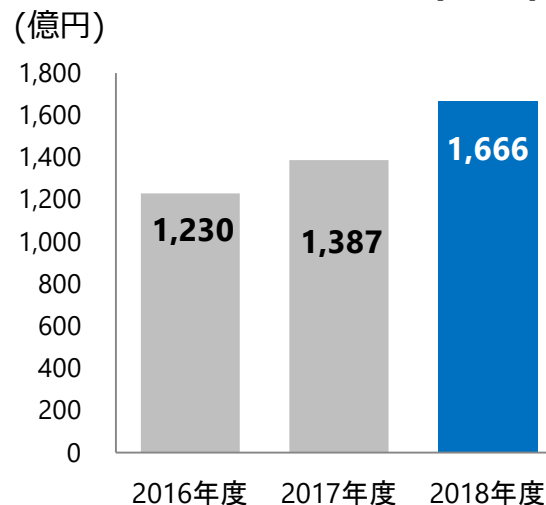
◆ 親会社株主に帰属する  
当期純利益： **1,328億円** (対前年 +21.9%)

3年連続  
過去最高

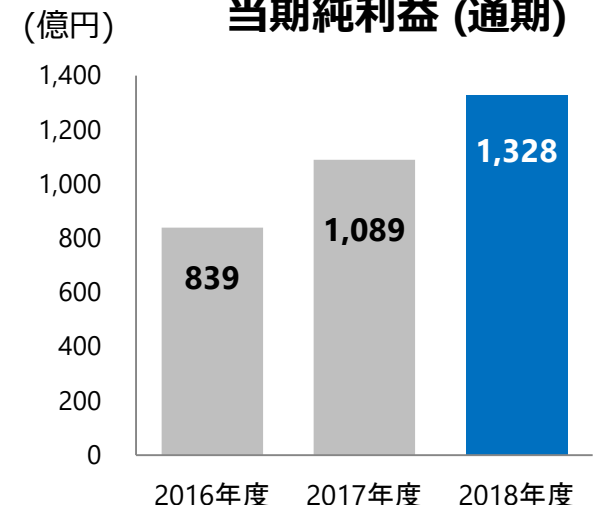
## 営業利益 (通期)



## 経常利益 (通期)



## 親会社株主に帰属する 当期純利益 (通期)



# 連結経営成績



(単位：億円)

	2018年度			対修正予想達成率	2017年度	対前年	
	通期 期初予想 (5/9)	通期 修正予想 (10/29*)	通期 実績		通期 実績	UP率	増減 額
売上高	3,465	3,540	3,637	102.7%	3,447	5.5%	191
営業利益	1,190	1,245	1,385	111.3%	1,152	20.2%	233
経常利益	1,400	1,485	1,666	112.2%	1,387	20.1%	279
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,110	1,185	1,328	112.0%	1,089	21.9%	239

- 売上高および各利益項目は、前期実績に対して、増収増益を達成
- 各利益項目は、いずれも過去最高を更新
  - 営業利益は4年連続
  - 経常利益は7年連続
  - 当期純利益は3年連続

為替レート (期中平均)	2018年度 前提	2018年度 実績
ドル	105円	110.93円
ポンド	145円	145.72円
ユーロ	130円	128.45円

# 損益計算書



(単位: 億円)

	2018年度			対修正予想 達成率(%)	2017年度		対前年	
	通期 期初予想 (5/9)	通期 修正予想 (10/29)	通期 実績		通期 実績	UP率 (%)	増減額	
売上高	3,465 16.7	3,540 16.1	3,637 15.1	102.7	3,447 21.4	5.5	191	
売上原価	580	570	549	96.3	739	△25.7	△190	
売上総利益	2,885	2,970	3,088	104.0	2,708	14.1	381	
販売費・ 一般管理費	48.9 1,695 29.6	48.7 1,725 29.4	46.8 1,703 28.0	98.7	45.1 1,555 27.7	9.5	148	
販売・管理費	1,025 19.3	1,040 19.4	1,020 18.8	98.1	956 17.4	6.7	64	
研究開発費計	670	685	683	99.7	599	14.0	84	
研究開発費*	470	504	514	102.0	599	△14.2	△85	
戦略的事業投資	200 34.3	181 35.2	169 38.1	93.5	- 33.4	-	169	
営業利益	1,190	1,245	1,385	111.3	1,152	20.2	233	
営業外損益	210	240	280	116.8	235	19.4	46	
経常利益	40.4 1,400	41.9 1,485	45.8 1,666	112.2	40.2 1,387	20.1	279	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,110	1,185	1,328	112.0	1,089	21.9	239	

# 事業別売上高



(単位：億円)

	2018年度			対修正予想 達成率(%)	2017年度		対前年	
	通期 期初予想 (5/9)	通期 修正予想 (10/29)	通期 実績		通期 実績	UP率 (%)	増減額	
国内医療用医薬品	1,193	1,193	1,287	107.9	1,392	△7.6	△105	
海外子会社 / 輸出	298	313	294	94.0	236	24.6	58	
シオノギ Inc.	109	124	118	95.0	106	11.2	12	
Osphena®	41	41	30	72.7	37	△18.5	△7	
C&O	124	124	115	92.8	69	67.2	46	
製造受託	121	129	148	114.4	169	△12.8	△22	
一般用医薬品	74	74	81	110.1	72	12.0	9	
ロイヤリティー収入	1,755	1,806	1,803	99.8	1,550	16.3	252	
HIVフランチャイズ	1,249	1,249	1,244	99.6	1,035	20.3	210	
クレストール®	211	211	220	104.0	226	△2.9	△7	
その他	295	346	339	97.8	290	16.9	49	
その他	25	25	25	98.9	26	△5.6	△1	
合計	3,465	3,540	3,637	102.7	3,447	5.5	191	



# 国内医療用医薬品売上高



(単位：億円)

	2018年度		通期実績	対修正予想 達成率(%)	2017年度	対前年	
	通期 期初予想 (5/9)	通期 修正予想 (10/29)			通期 実績	UP率 (%)	増減額
サインバルタ <sup>®</sup>	260	260	241	92.7	235	2.4	6
インチュニブ <sup>®</sup>	50	61	53	86.4	19	179.2	34
ゾフルーザ <sup>®</sup>	130	130	263	202.3	24	N/A*	239
ラピアクタ <sup>®</sup>	11	11	20	181.6	33	△38.9	△13
ブライトポック <sup>®</sup>	11	13	12	93.3	11	4.3	0
オキシコンチン <sup>®</sup> 類	91	87	73	84.1	87	△15.9	△14
スインプロイク <sup>®</sup>	12	16	16	100.4	6	163.5	10
<b>戦略品 合計</b>	<b>564</b>	<b>577</b>	<b>678</b>	<b>117.4</b>	<b>416</b>	<b>63.1</b>	<b>262</b>
アシテア <sup>®</sup>	1.5	1.8	1.9	105.2	1.2	56.0	1
ムルプレタ <sup>®</sup>	2.3	1.9	1.5	80.1	1.6	△4.6	△0
ピレスパ <sup>®</sup>	60	59	57	96.7	65	△12.2	△8
<b>新製品 合計</b>	<b>628</b>	<b>640</b>	<b>738</b>	<b>115.3</b>	<b>483</b>	<b>52.8</b>	<b>255</b>
クレストール <sup>®</sup>	97	97	99	102.2	293	△66.3	△194
イルベタン <sup>®</sup> 類	64	60	54	89.5	146	△63.1	△92
その他	404	396	396	100.0	470	△15.7	△74
<b>国内医療用医薬品</b>	<b>1,193</b>	<b>1,193</b>	<b>1,287</b>	<b>107.9</b>	<b>1,392</b>	<b>△7.6</b>	<b>△105</b>

# 国内事業：実力ベースでの増収フェーズへ



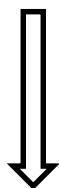
## 国内医療用医薬品 対前年売上高増減

ジェネリック発売の影響は  
2018年度上期でほぼ一段落



実力ベースでの  
増収フェーズ

9月： Crestor®  
オーソライズドジェネリック発売



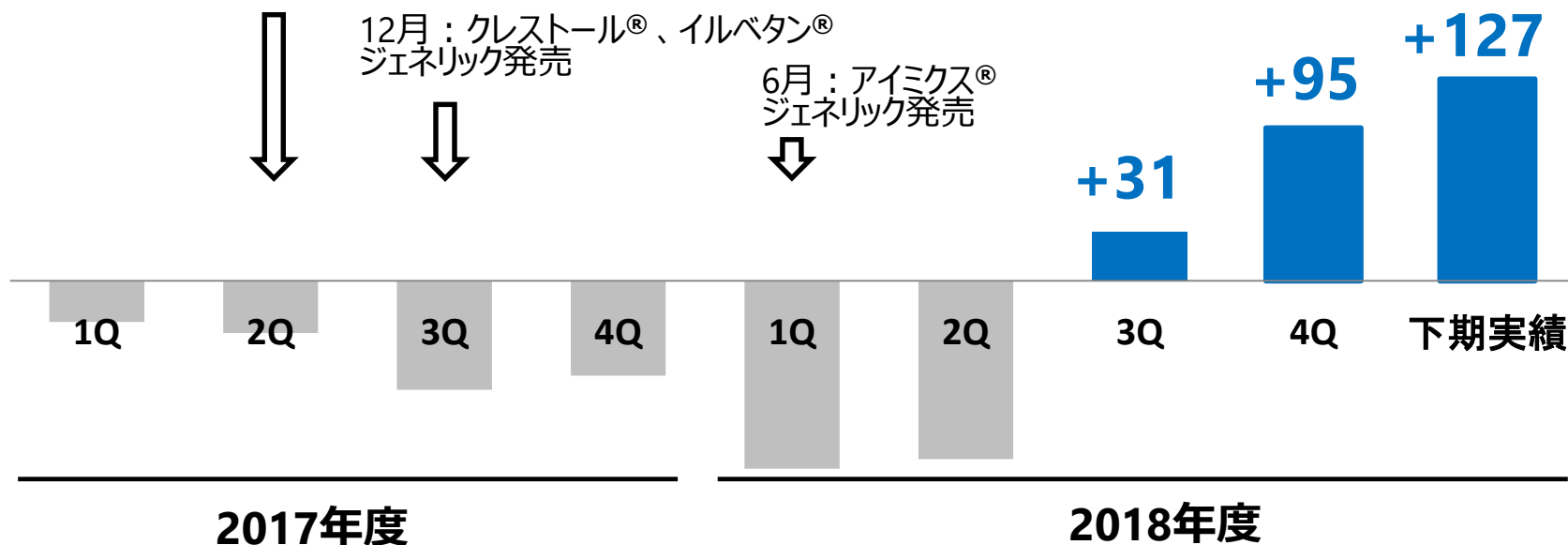
12月： Crestor®、イルベタン®  
ジェネリック発売



6月： アイミクス®  
ジェネリック発売



(単位：億円)



2四半期連続で増収を達成

## 2. 2019年度 ビジネスプラン

- **販売**

- 「**新製品の売上拡大**」と「**さらなる高効率経営**」により、自力での増収増益を達成

- **投資**

- 2020年以降の成長ドライバーとなるパイプラインを充実
- 注力領域でのグローバルプレゼンスの確立

- **ビジネスイノベーション**

- 国際会計基準（IFRS）導入に伴う業務プロセスの変革
- IT活用によるヘルスケアでの新たな価値創造
- シオノギファーマ稼働を含むグループ経営のさらなる進化
- イノベーション創出に向けたダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 持続的な成長に向けたESG\*活動のさらなる推進



**SGS2020に向けて獲得した「実力」をさらに高めながら  
2020年度以降の持続的な成長に繋げる攻めの一年**

# 業績予想



(単位：億円)

	2019年度予想		2018年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
売上高	3,655	1,590	3,637	0.5	18
営業利益	1,470	520	1,385	6.1	85
経常利益	1,705	630	1,666	2.4	39
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,330	490	1,328	0.2	2

新製品の売上拡大により  
増収増益を達成し、  
過去最高益を継続

為替レート (期中平均)	2019年度 前提	2018年度 実績
ドル	110円	110.93円
ポンド	145円	145.72円
ユーロ	130円	128.45円

# 損益計算書予想



	2019年度		2018年度	対前年	
	通期 予想	上期 予想	通期実績	UP率 (%)	増減額
売上高	3,655 14.6	1,590 16.0	3,637 15.1	0.5	18
売上原価	535	255	549	△2.5	△14
売上総利益	3,120	1,335	3,088	1.0	32
販売費・ 一般管理費	45.1 1,650	51.3 815	46.8 1,703	△3.1	△53
販売・管理費	31.6 1,155	35.5 564	28.0 1,020	13.3	135
研究開発費計	495	251	683	△27.6	△188
研究開発費*	495	251	514	△3.7	△19
戦略的事業投資	-	-	169	-	△169
営業利益	40.2 1,470	32.7 520	38.1 1,385	6.1	85
営業外収支	235	110	280	△16.2	△45
経常利益	46.6 1,705	39.6 630	45.8 1,666	2.4	39
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,330	490	1,328	0.2	2

(単位：億円)

# 事業別売上高予想



(単位：億円)

	2019年度		2018年度	対前年	
	通期 予想	上期 予想	通期 実績	UP率 (%)	増減額
国内医療用医薬品	1,441	537	1,287	12.0	154
海外子会社 / 輸出	314	160	294	6.6	20
シオノギ Inc.	99	63	118	△16.2	△19
Mulpleta <sup>®</sup>	10	2.5	0.8	N/A*	9
C&O	146	68	115	27.0	31
製造受託	143	91	148	△3.0	△4
一般用医薬品	97	46	81	19.7	16
ロイヤリティー収入	1,636	743	1,803	△9.2	△167
HIVフランチャイズ	1,265	613	1,244	1.6	20
クレストール <sup>®</sup>	220	110	220	0.2	0
その他	151	21	339	△55.4	△188
その他	24	12	25	△3.2	△1
<b>合計</b>	<b>3,655</b>	<b>1,590</b>	<b>3,637</b>	<b>0.5</b>	<b>18</b>

# 国内医療用医薬品売上高予想



(単位：億円)

	2019年度		2018年度	対前年	
	通期 予想	上期 予想	通期 実績	UP率 (%)	増減額
サインバルタ <sup>®</sup>	293	130	241	21.6	52
インチュニブ <sup>®</sup>	136	46	53	157.2	83
ゾフルーザ <sup>®</sup>	280	2.8	263	6.5	17
ラピアクタ <sup>®</sup>	26	0.5	20	27.7	6
ブライトポック <sup>®</sup>	18	1.8	12	56.2	7
<b>戦略品 合計</b>	<b>757</b>	<b>182</b>	<b>589</b>	<b>28.6</b>	<b>168</b>
オキシコンチン <sup>®</sup> 類	67	36	73	△7.4	△5
スインプロイク <sup>®</sup>	23	11	16	43.8	7
アシテア <sup>®</sup>	2.7	1.2	1.9	38.3	1
ムルプレタ <sup>®</sup>	3.3	1.7	1.5	115.4	2
ピレスパ <sup>®</sup>	69	35	57	21.0	12
<b>新製品 合計</b>	<b>922</b>	<b>267</b>	<b>738</b>	<b>25.0</b>	<b>184</b>
クレストール <sup>®</sup>	100	52	99	1.3	1
イルベタン <sup>®</sup> 類	49	26	54	△8.3	△4
その他	369	192	396	△6.8	△27
<b>国内医療用医薬品</b>	<b>1,441</b>	<b>537</b>	<b>1,287</b>	<b>12.0</b>	<b>154</b>



# 通期予想について



## 売上高 (3,637→3,655)

(単位：億円)

前期実績	上期実績 1,682	下期実績 1,955	
当期予想	上期予想 1,590	下期予想 2,065	+18

Roche社からのマイルストーン収入の減少

新製品の売上拡大

## 営業利益 (1,385→1,470)

前期実績	上期実績 573	下期実績 812	
当期計画	上期予想 520	下期予想 950	+85

戦略的事業投資  
18年度：169億円

販売費増加

+85

## 経常利益 (1,666→1,705)

前期実績	上期実績 701	下期実績 965	
当期計画	上期予想 630	下期予想 1,075	+39

+39

## 親会社株主に帰属する 当期純利益 (1,328→1,330)

前期実績	上期実績 579	下期実績 749	
当期計画	上期予想 490	下期予想 840	+2

+2

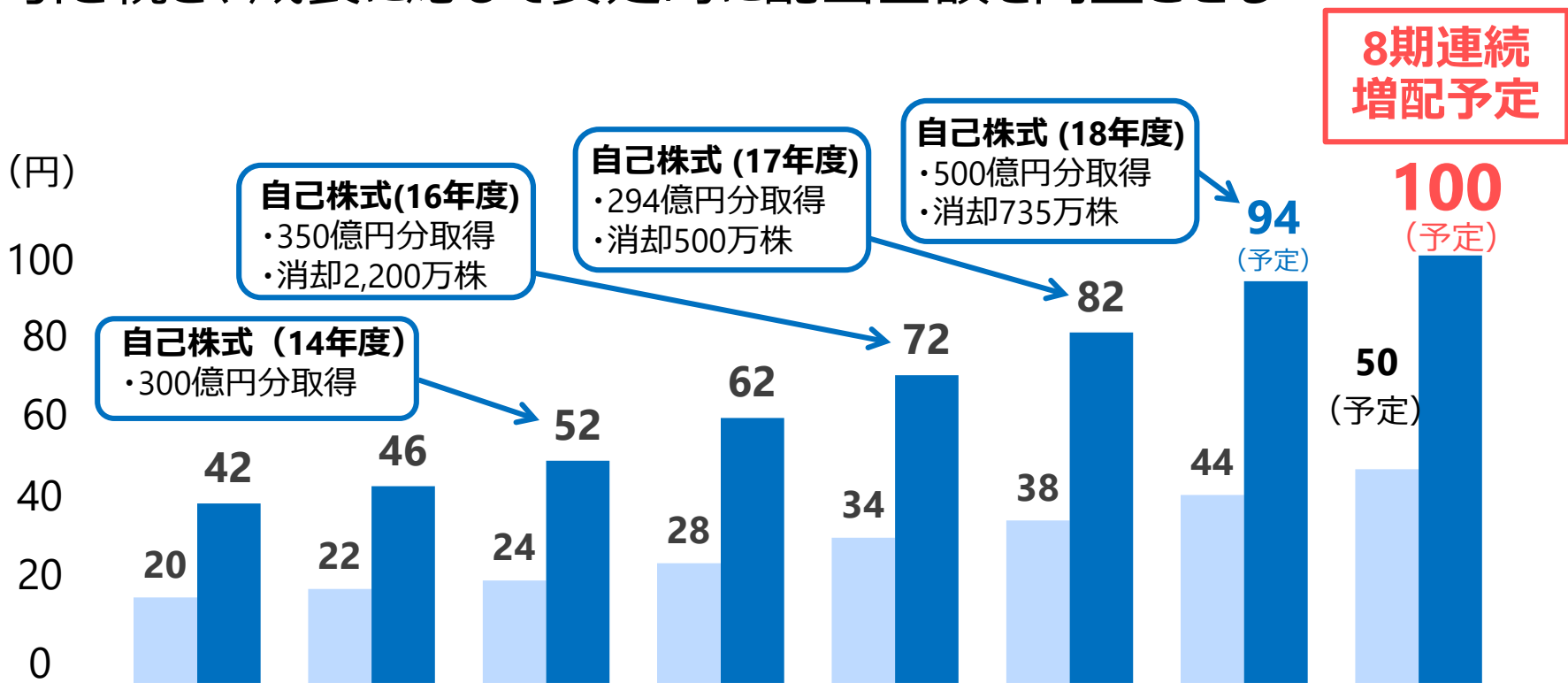
上期は減収減益を予想するが、通期では増収増益を達成

# 3. 株主還元について

# 成長をとともに実感していただける株主還元政策



- 2019年度も8期連続の増配、初の3桁（100円）配当を予定
- 引き続き、成長に応じて安定的に配当金額を向上させる



年度	12	13	14	15	16	17	18	19
DOE	3.7	3.5	3.7	4.1	4.5	4.6	4.6 (予想)	4.3以上 (予想)
ROE	17.5	9.2	9.4	13.6	16.3	19.4	20.9	18.0以上 (予想)



# Appendix

# KPI - 2018年度の結果 -



## 成長性 KPI

	2020年度 目標	2018年度 目標*	2018年度 実績	2017年度 実績
新製品**売上	2,000億円	721億円	<b>831億円</b>	529億円
経常利益	1,500億円	1,400億円	<b>1,666億円</b>	1,387億円
ROIC***	13.5%以上	14.5%以上	<b>16.5%</b>	14.9%
CCC****	5.5ヵ月	6.1ヵ月	<b>8.9ヵ月</b>	6.2ヵ月
自社創薬比率	50%以上	50%以上	<b>69%</b>	74%
ROE	15.0%以上	17.0%以上	<b>20.9%</b>	19.4%
DOE	4.0%以上	4.3%	<b>4.6% (予想)</b>	4.6%

## 効率性 KPI

## 株主還元 KPI



# KPI - 2019年度の目標 -



## 成長性 KPI

新製品\*売上

2020年度  
目標  
2,000億円

2019年度  
目標  
**1,006億円**

2018年度  
実績  
831億円

2017年度  
実績  
529億円

経常利益

1,500億円

**1,705億円**

1,666億円

1,387億円

ROIC\*\*

13.5%以上

**15.0%以上**

16.5%

14.9%

CCC\*\*\*

5.5ヵ月→  
**7.0ヵ月以下**

**7.6ヶ月以下**

8.9ヵ月

6.2ヵ月

自社創薬比率

50%以上

**50%以上**

69%

74%

## 株主還元 KPI

ROE

15.0%以上

**18.0%以上**

20.9%

19.4%

DOE

4.0%以上

**4.3%以上**

4.6% (予想)

4.6%

# パイプラインの状況 (2019年5月9日現在)



非臨床 (対象疾患) *	Phase I	Phase II	Phase III	申請	
インフルエンザウイルス感染症	海外開発品				
HIVウイルス感染症		S-004992** 結核	S-120083 炎症性疼痛	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症	Cefiderocol (米国) 腎盂腎炎を含む複雑尿路感染症
RSウイルス感染症		S-117957 不眠症	S-707106 2型糖尿病		Cefiderocol (欧州) 多剤耐性グラム陰性菌感染症
抗菌		S-237648 肥満症	S-488210 頭頸部がん		Baloxavir Marboxil (台湾) インフルエンザウイルス感染症
抗酸菌感染症		S-588210 固形がん	epertinib 悪性腫瘍		
真菌感染症		Rizmoic® オピオイド誘発性便秘症 (小児)	S-588410 膀胱がん		
予防ワクチン					
ペプチド医薬品					
ADHD		国内開発品			
オピオイド			S-812217 うつ病・うつ状態	セフィデロコル 多剤耐性グラム陰性菌感染症	セフィデロコル 多剤耐性グラム陰性菌感染症
アルツハイマー病	S-600918 神経障害性疼痛		S-600918 難治性・原因不明慢性咳嗽	ゾフルーザ® インフルエンザウイルス感染症 (予防投与)	インチュニブ® 成人ADHD
認知機能改善	S-637880 神経障害性疼痛		S-005151 脳梗塞	ゾフルーザ® インフルエンザウイルス感染症 (小児新用量)	
脳卒中後上肢・下肢痙縮	S-010887 神経障害性疼痛		S-237648 肥満症	サインバルタ® うつ病・うつ状態(小児)	
ペプチド医薬品	S-770108 特発性肺線維症		S-525606 スギ抗原によるアレルギー性鼻炎	オキシコドン 慢性疼痛における鎮痛	
肥満症			S-588410 膀胱がん	S-588410 食道がん	
S-723595 NASH			SR-0379 皮膚潰瘍		
がん転移			ADR-001*** 非代償性肝硬変		
S-540956 核酸アジュバント					
ペプチド医薬品					

\* 対象疾患で記載している場合は、複数の創薬プログラムが含まれる場合があります

赤枠は2019年2月1日～2019年5月9日の変更

\*\* Phase I 準備中  
\*\*\* Phase I/II 実施中

# パイプラインの状況 -アウトライゼンス (2019年5月9日現在)



非臨床 (対象疾患)	Phase I	Phase II	Phase III	申請
	<p><b>GSK3342830</b> 多剤耐性グラム陰性菌感染症</p>		<p><b>DTG/3TC</b> HIV感染症 TANGO試験 (維持療法)</p> <p><b>CAB</b> 持続性注射製剤 HIV感染予防</p> <p><b>Xofluza™</b> インフルエンザウイルス感染症 (重症)</p>	<p><b>DTG/3TC (欧州)</b> HIV感染症</p> <p><b>Xofluza™</b> インフルエンザウイルス感染症 (ハイリスク患者)</p> <p><b>CAB+RPV</b> 持続性注射製剤 HIV感染症</p>
				<p>感染症</p> <p>疼痛・神経</p> <p>その他</p>

<p>ステージ変更 (2019年1月31日 からの変更点)</p>	<p>Cefiderocol : Phase II→申請 (米国) Phase III→申請 (欧州)</p> <p>Naldemedine (Rizmoic®) : 申請→承認 (欧州)</p> <p>Lustrombopag : 申請→承認 (欧州)</p> <p>リスデキサンフェタミン : 申請→承認 (日本)</p> <p>S-005151 : Phase I→Phase II (日本)</p> <p>Xofluza™ : Phase III (ハイリスク患者) →追加申請 (米国)</p> <p>DTG/3TC : 申請 (未治療患者) →承認 (米国)</p> <p>CAB+RPV : Phase III→申請 (米国)</p>
---	--

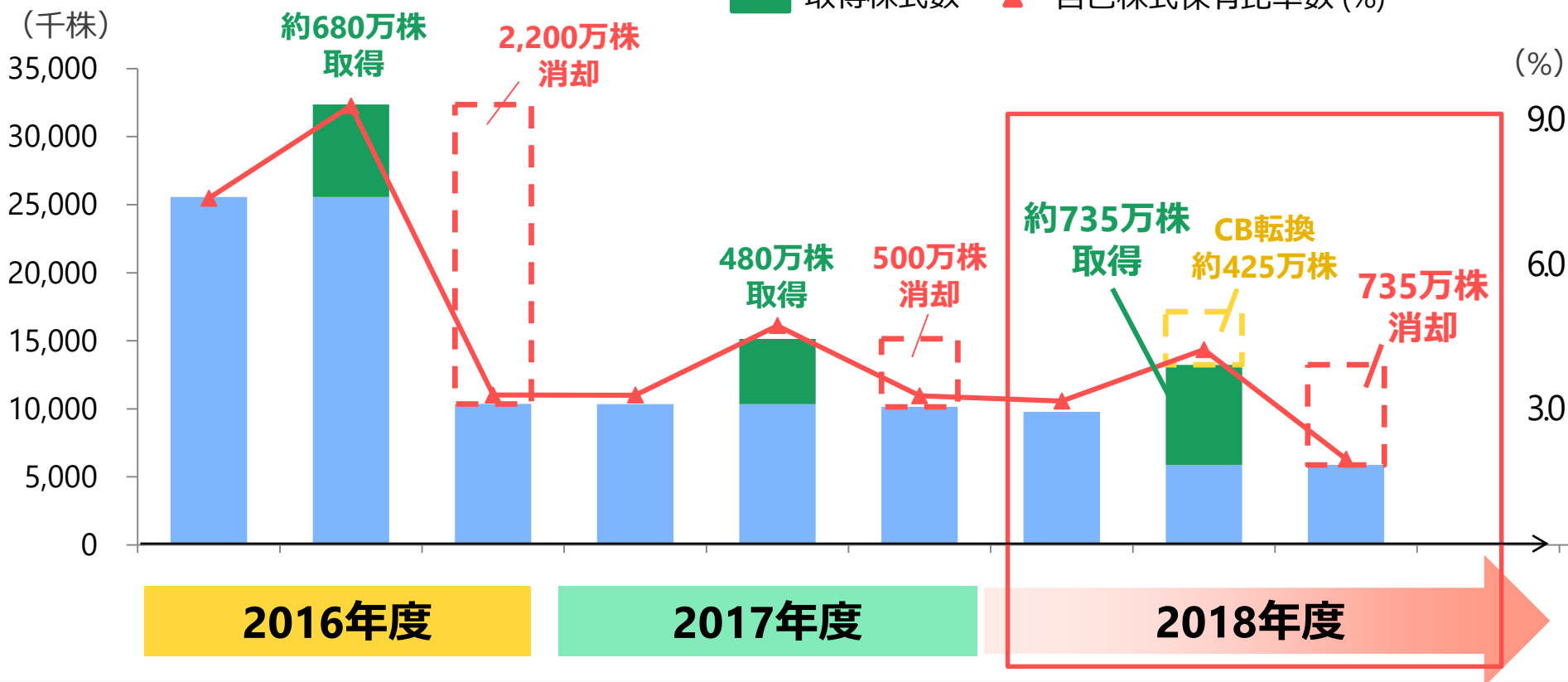


# 機動的な資本政策の実施

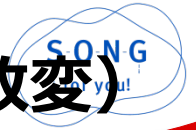


自己株式の取得・消却、政策保有株の持合い削減も含め、資本効率の向上および中長期的な利益成長を共に実感いただける株主還元施策を推進

■ 自己株式数    □ 消却株式数    □ CB転換  
■ 取得株式数    ▲ 自己株式保有比率数 (%)



# 新製品の定義 (中期経営計画SGS2020のupdate改変)



## 疼痛 神経

- サインバルタ®
- オキシコドン乱用防止製剤、オキノーム®、オキファスト®
- ナルデメジン\*
- インチュニブ®、ビバンセ®

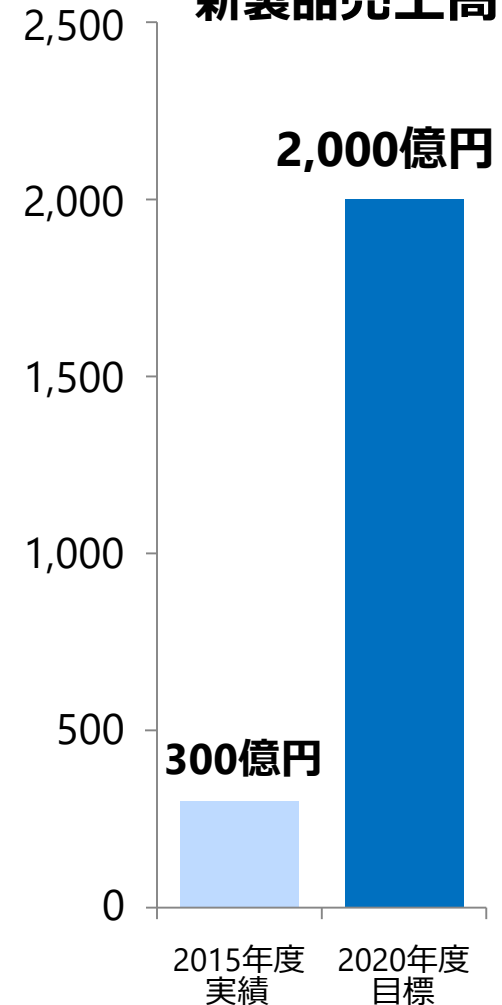
## 感染症

- ゾフルーザ® /Xofluza™
- Cefiderocol
- ラピアクタ®、インフルエンザ診断キット

## その他

- ピレスパ®
- ムルプレタ®
- アシテア®
- グラッシュビスタ®
- Osphena® (Senshio®)

## 新製品売上高



# 将来の見通しに関する注意事項



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。  
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。